

五日市和同会だより

発行：広島グリーンヒル病院
編集：広報委員会

基本理念

常に患者さんとご家族の立場に立って考え、行動します。
そして、医療・保健・福祉の分野で連携充実を図り、地域のニーズに応えるよう、職員一同頑張っています。

基本方針

- 1、信頼され、安全性の高い医療サービスを目指すため
職員の研鑽と協調に努めます
- 2、患者、家族、職員がお互いに尊重し合い、ともに喜び、
生き甲斐がもてるようチーム医療を推進します
- 3、地域に根ざした、住民とともに歩む病院（施設）を
目指します
- 4、病院（施設）の質を高め、健全経営に努めます
- 5、職業を通して、社会人としての豊かな人間性を養います



医療法人和同会 -五日市和同会-



〒731-5152 広島県広島市佐伯区五日市町下河内188-6
<http://www.gh.wadoukai.jp>

- 広島グリーンヒル病院
TEL 082-929-1110 FAX 082-927-2225
- 広島グリーンヒル病院介護医療院
TEL 082-927-2511 FAX 082-927-2225
- 介護老人保健施設 五日市幸楽苑
TEL 082-927-1611 FAX 082-927-2225
- 五日市幸楽苑 通所リハビリテーション
TEL 082-927-0700 FAX 082-929-1114
- 訪問看護ステーション ハローナース五日市
TEL 082-929-5007 FAX 082-929-5007
- 訪問介護事業所 グリーンヒル・ヘルパーステーション
TEL 082-927-2511 FAX 082-927-2225
- 認知症対応型共同生活介護 グループホーム五日市
TEL 082-929-0753 FAX 082-927-2229
- 居宅介護支援事業所 なごみ

交通アクセス

- 自動車
西広島バイパス木舟交差点・波出石交差点から、
県道41号五日市・筒賀線を北に約10分
※駐車場をご利用ください
- バス
JR五日市駅（北口）より広電バス湯来線（藤の木団地行・湯来ロτζ行）乗車、河内下城バス停より徒歩5分

感謝申し上げます

最善を尽くして感染予防や診療など、日夜業務に従事し地域医療を支えている看護職をはじめ、医療関係者の皆さまに敬意を表します。

新年度のご挨拶



広島グリーンヒル病院
院長 藤本三喜夫

当院ではこの春、11名の新入職員をお迎えする事ができました。コロナ禍の中、職場・学校および自宅でも不自由な生活を余儀なくされてこられた事と推察いたしますが、そんな中、新たな希望を胸に入職いただきました皆様、心よりお慶びを申し上げますとともに、感謝いたしております。

今年3月13日以降、屋内・屋外を問わず、マスクの着用を個人の判断に委ねることになりました。しかし、それから1ヵ月が経過していますが、花粉症あるいは黄砂の影響もあるかもしれませんが、いまだ大多数の人が屋外でもマスクを着用しておられるのを目にしますが、これは実直な日本人の気質を象徴する事象ではないかとも思います。

また、政府は5月8日に、コロナ感染症を「5類」に移行する方針を正式決定しました。しかし、全感染者数は減少しているものの、依然として下げ止まり傾向にあり、一部地域では上昇の兆しも見られる事より、今後ともコロナとは長く付き合っていく必要があるものと思います。

Withコロナとして、政府は国民の命を守ることと、社会経済活動を回すこと、この両立を目指しています。その中で、我々医療者としてできる事は、これまでと同様に安心できる医療を提供し続ける事であり、このために、医療従事者としての矜持を胸に、今回仲間に加わっていただいた新入職員の皆様とも力を合わせ、実直にこの責任を果たして行きたいと考えております。



日本人には1年に2回心をリフレッシュするチャンスが到来します。まずは新年、そして年度初めです。新年には今年「こうしよう」とかいろいろ誓うのですが、おいしいお酒でいつの間にかすっかり記憶の彼方となっています。そこで、しばらくすると嬉しいことに新年度が来ます。「いかん、いかん」今年はどうするのだったよね！と思出すわけです。新型コロナウイルス感染症で頭は飽和状態の中、もう一度見詰め直すチャンスが来るのは有難いことです。皆さんも今年の誓いを思い出して、足りない部分は今から再出発をしましょう。ちなみに私の今年初めの誓い（内容は内緒）はすっかり守られてなくて、この記事を書きながらも守られていない状況です。もう一度心を入れ替えるチャンスがあればいいのですが(笑)

話は変わりますが、今こそ老健施設の在り方を考える時期に来ていると思います。コロナ禍で利用者と家族が対面での面会ができない状態が続いています。当初の「未知の」疾患の時は仕方なかったけれども、そもそも老健施設はその「役割」にもうたわれていますが、自宅との密なる連携が必要で、在宅支援の要として位置づけられています。「withコロナ」と呼ばれる状況とどう向き合うべきか、そうはいつでも高齢者の命を守る役割もある老健施設の今後の方向性を考えるいい機会だと思っています。新型コロナウイルスは第8波では致死率は低下しましたが、感染力は強く季節性もない状況です。また、このウイルスはそう簡単にこの世から消えることはなく、むしろずっと付き合うことを考えないといけないと思います。5類への類型の引き下げも考えると、今後も新型コロナウイルスに限らず未知の病原体による感染拡大の事態が起きることも想定して普段から準備しておくこと、今回のパンデミックをいい教訓として、今後の日本の医療・介護の在り方をもう一度検討し直すいい時期に来ていると思います。下を向いてはいけません、前進あるのみです。頑張りましょう！



五日市幸楽苑
施設長 茗荷浩志



入社式

- 五日市和同会
入社式 第 八 次
- 一、開式
 - 一、病院長挨拶
 - 一、施設長挨拶
 - 一、辞令交付
 - 一、職場責任者紹介
 - 以上



五日市和同会では、令和5年4月3日入社式が行われ、新たに11名の新入職者を迎えることが出来ました。

入社式の緊張感漂う中辞令交付が行われたのち、藤本院長、茗荷施設長の歓迎のお言葉をいただいた新入職者たちは一層真剣な表情となり、五日市和同会の一員となる決意も新たにされました。この後4日間の院内研修を経て、各所属部署に着任となり、いよいよ新しい第一歩を踏み出します。

今後彼らにはいろいろな困難や試練が待ち受けていると思いますが、かのフローレンス・ナイチンゲールの名言の一つに、「あなたは進歩し続けられない限りは退歩していることになるのです。目的を高く掲げなさい。」とあります。是非この言葉の通り、志を高く持って前向きに頑張りたいと思います。

地域の皆さま、平素多大なご協力をいただいている皆様、引き続きご支援の程よろしくお願い致します。



栄養課発

4月の行事食（お花見会）

- ・桜寿司
- ・盛り合わせ
- ・のり合わせ
- ・漬汁
- ・漬物
- ・和菓子
- ・お品書き



〇タケノコのお話

タケノコが食卓に並んでいると春の訪れを感じますね。しかし、成長が速くすぐに竹になってしまうため、生のタケノコを楽しむ事ができるのは限られた期間です。どんどんえぐみが増していくため「朝掘ったらその日のうちに食べろ」「掘り始めたらお湯を沸かしておけ」と言われるほど掘りたてをすぐに処理して、新鮮なうちに味わうのが良いです。掘りたての穂先を刺身でいただくのが贅沢とされています。

地域公開講座

3年ぶりの開催！

五日市和同会では令和5年3月18日、コロナ禍による開催の自粛を経て、約3年ぶりに地域公開講座を開催しました。表題は「上手に食べて、元気に長生き！～低栄養の防止～」と題し、株式会社明治より菊本順子さまを講師に迎え、食をテーマに講演いただきました。

当日はコロナ感染対策もあり、参加者は20名と少人数での開催となりましたが、約1時間の講座を真剣に聴講されていました。受講された参加者からは、「食生活の見直しのきっかけになった」、「ちょっとした工夫をすることで、日々の食事（栄養バランス）が大きく改善できるなんて、目からうろこ」など、とても参考になったといった意見を数多くいただきました。

